船坂新聞

２０１２.０７.１４　第４６号　発行：船坂新聞倶楽部

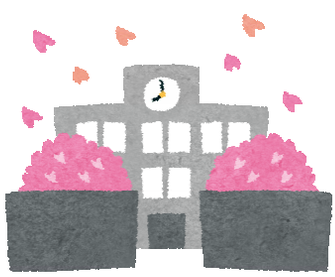
ホームページ http://funasakashinbun.news.coocan.jp/
問い合わせメールアドレス funasaka.moriagetai@gmail.com

趣味の作品展

善照学園園児たちが力作

　趣味の作品展、今回は善照学園の作品です。
　作家:鈴木貴弘さんの指導で、大きな紙にいろんな手法で描かれた絵や、空中にぶらさがった可愛い人形たちが展示されています。
　園児たちの作品は、８月３１日まで展示されています。
(平日：１０：００～３：００開館)

山口小学校創立１４０周年



　船坂っ子の通う西宮市立山口小学校が創立１４０周年を迎えました。これを記念して６月１６日（土）に山口小学校にて、記念式典が行われました。
公開授業の後、やまぐちスポーツクラブ２１「祭」による力強い和太鼓の演奏で式典の幕開けとなり、神戸女学院大学音楽学部アウトリサーチの皆さんのハープの演奏、くす玉割りで締めくくられました。
　山口小学校は旧船坂小より１１日遅い明示６年２月１２日に創設され、西宮で最も古い歴史の小学校の１つです。（山 有里）

公民館講座へどうぞ

みんなで唄ってリラックスしませんか。
お茶も用意しています。
参加希望者は、上中道子までご連絡ください。

と　き　７月２３日(月)
　　午後１３時３０分～１５時
ところ　船坂公会堂２階大広間
講　師　浅岡　愛子

古材問屋で土日カフェがオープン

船坂川対岸にある古材問屋では、レトロな各種品物を展示販売されていますが、６月からは土日限定でカフェも開かれています。涼しくていいですよ。

PENNY LANE
ガレージ＆カフェ ペニーレーン
〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-234C
http://www.penny-lane.jp/

FUNASAKA
西洋料理/船坂
西宮市山口町船坂字北谷２１６番地
Tel/Fax 078-903-1158
http://www.seiyoryori-funasaka.com/
HPに最新情報を掲載しています

うどん
すじかま
651-1423 西宮市山口町船坂字北山
コイツカ2178-23 TEL：078-904-2661
◆パートさん募集中◆

Copyrights 2008-2011 funasaka-shinbun-kurabu. All Rights Reserved.

船坂住民数珠つなぎ

船坂ぐらしが一番ええねん

［今月は、尾崎春治さんの紹介で上中四郎さんに登場願いました］

上中四郎さん(左)。右は同級生の亥角さん

------四郎さんは、春治さんのお世話をよくしておられますが?
春治は叔父（母の弟）にあたるねん。怪我して兄（宏之）と協力しながら世話してる。

------四郎さんの小学校の思い出は?
この建物（ランチルーム）が運動場の方にあって瓦屋根やって、そこで勉強した。プールのとこに先生の住宅と幼稚園があった。同級生も何人かおったんやけど、今、船坂に残っとるのはワシと亥角洋子さんと与那嶺（旧姓桃原）キヨ子さんの３人だけや。

------四郎さんは、ずっと船坂ですか?
そや。生まれてから７０年、ずっと船坂や。勤めも高原ゴルフに４０年勤めてたんで外へ出てへん。街はきらいや。曲り角があっちこっちにあるのでややこしゅうていやや。勤め辞めてからも草刈なんかしてて外へはあんまり行かへん。
船坂川の西側に残ってるビエンナーレ作品の回りも刈ってるんや。

------四郎さんのお家の辺りは上中さんが固まってますね。
４人兄弟の内、長男（勇）と三男（宏之）と四男（四郎）が固まって住んでるねん。妻のけい子とは昭和４８年に結婚した。苦労してるからワシにはようしてくれたで。息子は簡保、娘は植物園で働いとるんやけど、まだ一人もんや。早よ孫の顔みたいんやけどな。

------船坂のことで何かありませんか。
船坂小学校がのうなったんは、昔、皆が先の見通しをせんかったせいやと思う。こうなったんもしゃあないな。船坂新聞はええ新聞や。わしが載せてもらえるなんて夢にも思わんかった。

------次、どなたか紹介いただけませんか。
そやな。坂本茂さんに頼んどくわ。

------よろしくお願いします。今日はありがとうございました。

（インタビュー：黒木 富美子、池田 壱和）

編集者のつぶやき

こんにちは！コミュニティーでランチやカフェが始まってから早１年余りが過ぎました。私が担当しているカフェでは現在西口雅彦さんお手製のケーキやお菓子をお出ししています。（内容は毎回お任せで違うものです。）７月は２２日が映画会の日です。夏のひとときを映画と共に楽しみませんか？ご家族やお友達と是非おいで下さい。もちろんお一人でも(^ - ^)皆さんお待ちしています。
（亥角 さくら）

ヒグラシが鳴き始め，夏が来るのかな？と思いきや先日の豪雨。「ためらひの初蜩に山けぶる」といった感じでしょうか。わが子は折角始まったプールが出来ず，残念そうでした。今年は節電が気になりますが，早く梅雨が明けて欲しいものですね。
（塩貝聖子）

calender（7/14～8/4）

7/14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2	3	4	5
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
自治会定例会	芸術祭推進委員会 新聞編集委員会		陶芸クラブ		老人クラブ定例会			蕎麦ランチ・映画カフェ 体験農業草引き					ビエンナーレ協賛金受付	ベルグコンサート →	たんぽぽ読み聞かせ →						自治会定例会 ベルグコンサート ワークショップ →	

船坂のサークル活動

ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ　水19:30
ｸﾞﾗﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ　水・金9:30
ﾃﾆｽ　水土日9:00
ﾖｶﾞ　月10:00，火19:30
ｺﾞﾙﾌ　年3～4回
野球　月1～2回
陶芸　第2.3火10:00

創業昭和八年
北福畳店
西宮市山口町船坂702
TEL　０７８-９０４-２６６０

知る人ぞ知る隠れ家レストラン
Alice
癒しの森のガーデンカフェレストランAlice
〒651-1423　西宮市山口町船坂１６２６
TEL078（904）2603
バースデーケーキをお宅までお届けします。
（山口町内　無料配達いたします。）

セブン-イレブン
西宮船坂店
〒651-1423 西宮市山口町船坂419
電話　078(903)1090

ビエンナーレ開催にむけて今年もよろしくお願いします

船坂里山芸術祭推進委員長　松本　義博

２００９年のプロローグ、２０１０年の第１回に引き続き、本年は第２回目のビエンナーレ開催となります。

現在、１０月２１日からの開催に向けて役員会・推進委員会で準備を進めております。今年も、地域の皆様にボランティアや協賛金のお願いをすることとなりました。

船坂では、JA ふれあい開館での趣味の作品展、陶芸クラブの誕生、船坂農産物を使った加工品グループの活動など新しい動きが始まりました。又ここ２~３年間に、若い世帯の方々が引越して来られて幼児数が増えてきました。引き続き船坂活性化のきっかけづくりのビエンナーレ２０１２を、地域の力で成功させることができるようご協力よろしくお願いいたします。

協賛金のお願い

推進委員会では、県・市をはじめ福武財団、朝日新聞財団、阪急阪神、アサヒビールなどへ助成金申請の努力を続けておりますが、それでも予算不足で四苦八苦しております。長引くデフレ不況の中、大変恐縮ですが、ビエンナーレ成功に向けて今年も皆様に協賛金のご協力をお願いいたします。

個人１口１，０００円、店舗・団体１口５，０００円でお願いいたします。

次の３日間、協賛金の受付をさせていただきますので、お手数ですがよろしくお願いいたします。

日　時　７月２７日(金)２８日(土)２９日(日)の各午前１０時から１２時まで
場　所　JA ふれあい会館(芸術祭推進委員が受付いたします)

なお、この３日間でご都合の悪い方は、推進委員にお渡しいただくか、次の口座へ直接振り込んでいただきますようお願いいたします。

兵庫六甲農業協同組合船坂出張所
普通預金口座　０００３３３０　船坂里山芸術祭推進委員会

協賛金申込書	領　収　書
(住所氏名をご記入の上、推進委員へ届けてください。)	２０１２年　　月　　日
２０１２年　　月　　日	様
協賛金＿＿＿口＿＿＿＿＿円	協賛金＿＿＿＿＿円受領しました。
ご住所　西宮市山口町船坂	ご協力ありがとうございました。
お名前	推進委員　　印

作家ホームステイについて お願い

ボランティアの内、今年は新たに地域の皆様に「作家のホームステイ」をお願いすることにしました。

２０１０年の時には、校舎跡で泊まっていただきましたが、「地域の人と作家の交流、作家同士の交流が少なかった」との反省がありました。加えて、厨房(元給食室)の衛生管理のため、作家さんの自炊に使ってもらえなくなりました。

２０１０年に作家さんが泊まられた日数は、国内作家の多くは２～３日の滞在でしたが、海外からの作家は２０日～３０日という長い滞在でした。今年、これらの作家さんをホームステイで受け入れるには１０軒程度のステイ先が必要と思われます。

ホームステイ受入れの基本は、普段どおりの生活を崩すことなく、普段の食事内容のままで受け入れていただくことです。決して「お客さん」扱いせずに、家族が１人増えた程度に気軽に受け入れていただくことです。船坂では、これまであまり経験の無いホームステイです。知らない人を泊まらせることに不安があると思いますが、なんとかみなさんのご協力で、暖かく作家さんをお迎えできればいいなと思います。よろしくお願いいたします。

なお、少ない予算の中ではありますが、ホームステイにご協力いただいたご家庭には、シーツ代・朝食代・光熱費など若干の謝礼を検討しております。

(山口町や北六甲台にもホームステイ協力をお願いするつもりですが、なるべくなら、船坂地域で全ての作家さんのステイを引き受けたいと思います。)

ボランティアのお願い

今年も沢山のボランティアさんが必要です。

●８月末頃～１０月２０日頃(準備中)

①作品づくりのサポート。

②作家さんのホームステイ。

③海外作家さんの通訳。英語・中国語。

●１０月２１日～１１月２４日(開催期間中)

①案内や展示作品の作品監視。

②土日に行うアートツアー・リーダー。

皆様のできる範囲でボランティアのお力添えをいただき、ビエンナーレ２０１２を成功させ、船坂の未来をさらに切り開くためにご協力よろしくお願いいたします。

ボランティアにご協力いただけるかたは、お近くの推進委員、または案内部長：坂口富夫(９０４－２５６２)、事務局長：池田壱和(９０４－３４６７)までご連絡をお願いします。

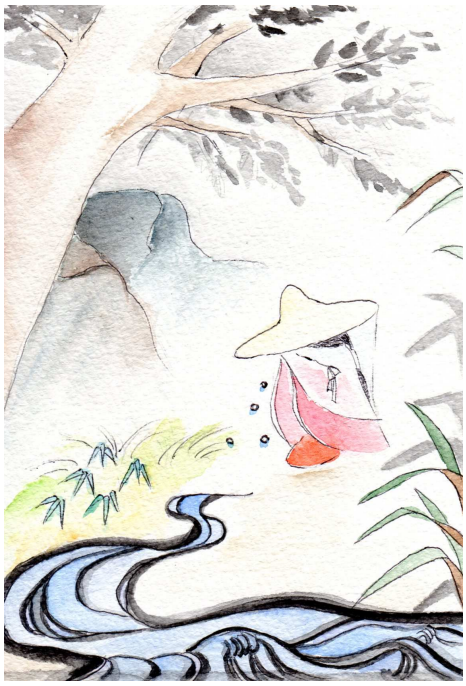
推進委員会

(顧問)坂田芳郎、中西博子、後藤信夫、(委員長)松本義博、(副委員長)坂口文孝、酒井博司、平井雅博、黒木富美子、(事務局長)池田壱和、(会計)八濱雅彦、(監査)宮本　守、野口　進、(案内部長)坂口富夫、(作品部長)小山那須夫、(推進委員) 西口英二、宮里　清、尾崎清政、宮本勝夫、北福敬三、中田　隆、芦田勝也、足立　博、大崎忠男、大前忠司、亥角稔久、河原大耕、明木哲生、亥角英つ子、亥角洋子、亥角さくら、坂口洋子、野口順子、長瀬真弓、小山由紀子、プライス里佳、岡田安紀子、中西亜希子、北福正美、池田峯代、

船坂民話再編(7)『白滝姫の涙水』

与志朗

有馬に向かい、船坂の集落を離れて１km程進むと蓬莱峡によく似た景観の場所があります。村人は白水峡と呼び、白水川と呼ばれる川が流れ、船坂川に合流しています。



それは遠い昔、奈良時代、摂津国丹生山田の住人、矢田部郡司の山田左衛門尉真勝という若者が都に出仕し淳仁天皇(在位７５８～７６４年)に仕えておりました。

ある時、右大臣藤原豊成の次女白滝姫を見染めました。都随一の美人と評判の中将姫の妹で、薄衣をまとった肌はぬけるように白く、もの思いに沈んだひとみは、底深い湖水の色をたたえていました。すっかり心を奪われた真勝は恋い文を送り続け、その数が千束にもなりましたが、姫の心をとらえることはできませんでした。

そのころ、御所で「歌合わせ」という遊びがあり、真勝は参加をお願いし、許されました。当日、『水無月の稲葉の露もこがるるに雲井を落ちぬ白滝の糸』と恋歌を贈りました。白滝姫の返歌は『雲だにもかからぬ峰の白滝をさのみな恋ひそ山田をの子よ』(身分の高い私です。諦めなさい)でした。真勝は諦らめられず『水無月の稲葉の末もこがるるに山田に落ちよ白滝の水』と歌をおくりました。天皇は真勝の心を哀れに思われて、自ら仲立ちをされ、右大臣を説いて、身分をこえ、結婚をすることになりました。真勝は喜んで山田へ連れ帰ることになりました。

姫は都を後に、真勝に手を引かれ支えられ、時には、真勝に背負われて、船坂を越え、やっとここまで来た姫でしたが疲れ果て、ついにくたくたとその場に崩れおちてしまいました。「たとえ、勅命とはいえ、父や母に別れてこんな山奥まで来た我が身が悲しい。又あなたの心のやさしさを知って、よけいに心が苦しいのです」とその場に泣き伏してさめざめと涙を流すのでした。すると不思議にも土に落ちた姫の涙が泉となり、川となって流れ出しました。村人はその川を白滝姫の名をとって白水川と呼びました。その後、ここを旅する人や馬はこの川の流れでのどを潤し喜ばれたということです。

しばらくして、気を取り直された白滝姫は、山田への旅を続けられることになりました。道端の泉で涙のあとを洗われ、お化粧を直されました。その時の泉の石を「もたれ石」といい、又「目洗いの井戸」と呼ばれ、唐櫃(神戸市北区有野町)にあるそうです。都の華やかな貴族の生活から、急にひなびた山里へ移ってきた姫は寂しく心浮かぬ日々を過ごされました。姫は結婚後３年にして男の子１人を残し、栗の花が落ちる頃に亡くなりました。真勝は邸内に弁財天の社を建て祀りました。

それから毎年５月栗の花の落ちる頃、社の前の泉に清水が湧き出て水面に栗の花が散り落ちるのでした。どんな日照りの年でも水の湧かないことはありませんでした。それにより「栗花落（つゆ）」の氏を賜り、白滝姫の長子は栗花落左衛門左真利と呼ばれ、栗花落家はその後、摂津山田庄の名族として栄え、この社は現在も現神戸市北区山田町原野にあり、栗花落家の当主が祭礼を行っておられます。[摂津名所図会]には「白滝弁財天、山田村の里長栗花落氏が家園にあり。此家の祖先白滝姫を祭るとぞ。社前に井あり。長さ四尺、幅三尺、深さ一尺、底白砂、常に水なし。例年５月入梅の節、栗の花落つるを期とし、此池より清泉湧き出づる。」と記されています。（次頁に続く）

古材問屋
古材問屋
651-1423　兵庫県西宮市山口町船坂280
Tel:078-903-5314 Fax:078-903-5319
http://www.kozaidonya.com

7月・8月のコンサート
ヴァイオリンコンサート(各3,500円)
７月２８日(土)佐藤友香・藍川理恵子
８月４日(土)ダニエル・ベル
要：電話予約
信州ベルク
Tel:078-903-1172

株式会社加登
☎078-904-3843
〒651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂710-4
墓石のことならお任せください

しかし、二人は、山陽道を下り、烏原古道を平野から石井川に沿って鈴蘭台を経由し長坂山の東を越えて山田の里に入ったというのです。兵庫区都由（つゆ）乃町に、白滝姫を祭る、“栗花落の森” があり、小さな祠があります。白滝姫を連れて山田の里へ帰る途中、石井村の北にあるこの森で休みました。その頃日照りが続き水不足で、旱魃に苦しむ人々を救おうと白滝姫が杖で地面をつつくと、そこから清らかな水が湧きでて、村人を喜ばせた泉の跡と伝へられています。このようないい伝えから大正６年に現在の町名になったといいます。しかし、真勝は船坂越えを選んだのではないでしょうか。新婚の旅を有馬の湯に求め、白滝姫を有馬の湯で慰めようとした筈です。

白滝姫の話しは外にもありますので、二つほど簡単に紹介しておきましょう。
まずは、群馬県桐生市に伝わる話しです。上野（こうづけ）国山田郡の山田奴が都に出仕し、評判の美女白滝姫と歌の問答をして相愛の仲となり、山田奴は姫を故郷に連れ帰ります。姫は養蚕をし、機を織ることをよくしたので絹織物の技術を里の人に教えました。それがもとで桐生地方に機業が盛んになったと伝えます。白滝姫が桐生の山々を見て「京で見ていた山に似た山だ」と言ったことから「仁田山紬」とよばれ、特産品として流通しました。

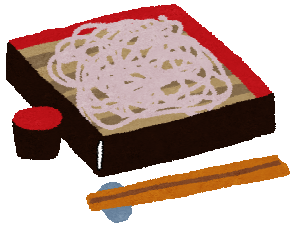
別に富山県の話しです。越中国婦負郡山田村出身の若者が都の公家の家に奉公に出て、屋敷の庭を掃いたり薪を割ったりして仕えていました。家には白滝姫という美しい姫がいました。ある日、風呂に白滝姫が入ろうとして熱いとわかり、男は桶で水を運びました。その際、水がこぼれて姫の袖を濡らしました。そこで姫が歌を詠みました。『雨さへもかかりかねたる白滝に心かけたるやまだ男の子よ』　すかさず山田男は『照り照りて苗の下葉にかかるとき山田に落ちよ自滝の水』山育ちの男が意外にも見事な歌を返したので感心しました。この歌が縁で二人は恋いしあうことになり、身分が違うのに結婚が許され、故郷の山田村に帰り、終生仲睦まじく暮らしたと伝えます。

（挿絵：平井ちゑ子）

船坂コミュニティーからのお知らせ

6月10日100歳の誕生日を迎えられた尾崎　春治さんのお誕生日のお祝いをランチルームでしました。少し前に体調不良とお聞きして心配しましたが、元気に参加していただき、当日のランチは誕生日用にメニューをし、たくさんの方にお祝いをしていただきました。
ランチには毎回手書きで季節の絵・言葉の入った箸袋を船坂の方のご好意でいただいています。当日はかわいらしい絵に百歳万歳と描いていただいてとても感動しました。
いままでランチは２４回させていただきましたが、毎回本当にありがとうございます。

◆船坂コミュニティー7・8月の予定◆
７月２２日　蕎麦ランチ・カフェ・映画会
８月のランチ・カフェ・映画会は夏休みとさせていただきます。



6月に入り週3回ほど18時半～２１時ごろまでランチルームを善照学園中学生が勉強会で使用しています。７月以降も続けていく予定です。
（曜日はその月によって違います）

いよいよ夏休みですね。
お勉強に遊びにコミュニティルーム（ランチルーム）をご利用ください。
こられた方は必ず管理事務所に声をかけてください。
団体使用の場合は事前に連絡お願いします。
開館日は、日・水・金・土（9時～17時）。８月１２日～１５日は休館。

（旧船坂小学校管理運営委員会）

Daddys Bakery
est 2001
〒651-1423西宮市山口町船坂90
TEL：078-907-3920

Kawahara Kobo
株式会社河原工房
〒569-0823　大阪府高槻市芝生町3-2-1
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587
URL http://www.omoiokatachini.jp
e-mail info@omoiokatachini.jp

Kobako Vege
こばこベジ
〒662-0978　西宮市産所町3-24
OKKO陶芸工房2F
TEL&FAX 0798-26-3618
e-mail kobako.design831@gmail.com